

(世界史)

〔I〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

奴隷制は古くはメソポタミアにおいて存在し、その後、ペルシアで興亡を繰り返したさまざまな帝国、ギリシア文明とローマ帝国、イスラーム社会、近世・近代の欧米へと広がり、19世紀に廃止されるに至った。奴隷制が存在した社会はどのようなものであったのか。ここではイスラーム社会に焦点を当ててみよう。

イスラーム以前のアラビア半島では、アラブ人が遊牧や農耕を営み、多神教を信仰するとともに、ユダヤ教やキリスト教も徐々に浸透しつつあった。アラビア半島南端のイエメンは、紅海とインド洋を結ぶ交通の要衝であり、香料貿易などで栄えた。ヘブライ王国ダヴィデ王の子であるソロモン王に黄金や香料を贈ったとされるシヴァ王国の繁栄は『旧約聖書』や『クルアーン』に記されている。港市のアデンの繁栄も、1世紀に書かれたギリシア人商人の紅海からインド洋にかけての活動記録である A に描かれており、この地域はアルダシール1世が建国した あ の支配を受けた。あ とビザンツ帝国が抗争を繰り返す中で、アラビア半島は東西を結ぶ交易ルートとして栄え、メッカやメディナなどの商業都市が栄えた。

こうして、イスラームが成立する以前から交易で栄えたアラビア半島には、前1世紀には成立し、4世紀にはキリスト教を受容したとされる い 王国のあるエチオピアからの奴隷や、隊商によって北方から購入されてきた奴隷、アラブ人奴隷とその子孫がおり、家事労働や家畜の世話などに従事していたという。メッカに住む 1 族に生まれたムハンマドのもとで名を上げた者のなかにも異民族出身の奴隷がいた。例えば、ムハンマドによって最初の公的な礼拝呼びかけ人に指名されたピラーフは、エチオピア出身の黒人奴隷で、イスラーム共同体の初代カリフになる (I) によって買い取られ、解放されたといわれる。ただし、イスラーム以前のアラビア半島における奴隷の絶対数はそれほど多くなかったようであり、一部富裕層の特権的所有物であった。

この状況を一変させたのが、ムスリム(イスラームを信じる人々)による大征服であった。初代カリフから第4代カリフである (II) までの時代を正統カリフ時代と呼ぶが、この時代にムスリムの勢力は、イラク・イラン・シリア・エジプトを支配下におさめ大帝国を築いた。(II) が暗殺され、シリア総督の (III) が B を都に定めてウマイヤ朝を開いた後も、アラブ帝国の拡大は続いた。

支配された領域には、無数の異民族・異教徒、奴隷、異民族出身のイスラームへの改宗者、という三者が生じるようになった。異教徒の非アラブ人のうち、アラブ人との人間関係のもとで改宗した者を C と呼んだが、この言葉は本来、「解放奴隷」の意味でもあったという。

また、大量の戦争捕虜が生じたため、メッカ、メディナは奴隷交易の中心地になり、イラク・イラン・シリア・エジプトなどには軍営都市 D が統治の拠点として築かれてアラブ人が移住し支配層として君臨した。拡大したアラブ帝国では、アラブ人の「血統」を重視し、異民族・異教徒を劣位に置く支配体制が構築された。D にも多くの戦争捕虜が連行され、多数の奴隷女性がアラブ人男性の所有となり、奴隷以外の手段による通婚なども含め、数多くの民族的混合が拡大する契機になった。

イスラーム法において「奴隷」は「自由人」と明確に峻別されるとともに、一方で奴隷の解放は、貧者への施しと並ぶ善行とされた。イスラーム法は自由人ムスリムを奴隷することを禁じたため、奴隷はつねに異民族・異教徒であり、差別しつつも、受け入れる方向も進み、アラブ社会は徐々に変化していったのである。

その背景には、アラブ国内の大多数を占める異教徒が改宗したことによって、国内のアラブ人と非アラブ人とのパワーバランスが逆転したことも作用していた。アラブ人と同等の地位や権利が認められないことへの非アラブ人の不満は高まり、ムハンマドのおじの子孫であるアッバース家を中心に反ウマイヤ朝運動が展開され、750年にウマイヤ朝は滅亡、アッバース朝が誕生するに至った。

こうして、「血統」の人間関係に縛られてきたアラブ中心のイスラーム社会から、多民族・多文化的で社会的流動性の高いイスラーム社会へと変化を遂げる方向が

一気に入った。アッバース朝の初代カリフである (IV) は母が有力なアラブの家柄であったが、第2代カリフである 2 の母は北アフリカ出身の奴隷女性であり、 2 は積極的に異民族・奴隷出身の人々を登用していった。以降、アッバース朝では奴隷出身者や非アラブ人が、それ以前より多く高官に登用されるようになった。アッバース朝最盛期の第5代カリフ (V) も母はイエメン出身の奴隷女性⁽⁴⁾であった。アッバース朝では、2人の例外を除いて奴隷女性を母に持つ者がカリフとなったのである。

アッバース朝は751年、中央アジアの E で東の帝国である唐と戦い、勝利を取めたが、領土がそれ以上拡大することなく、その後は分裂の時代に入った。10世紀前半には西北イランでシーア派の軍事政権である う が台頭し、マグリブではイスマール派の⁽⁵⁾ え が誕生し、自らカリフを称した。また、ウマイヤ朝の一派もコルドバで後ウマイヤ朝を建て、最盛期の (VI) の時にカリフを自称したため、イスラーム世界に3人のカリフが鼎立する事態になった。いずれも多極化と多様化を象徴する政権で、 え の宰相であったシャウザルは宦官であった。宦官はイスラーム社会外で施術された異教徒であり、アフリカ系、スラブ系、ヨーロッパ系が中心であった。

支配層によって解放、あるいは重宝された奴隷が政権の要職につくことはその後も続いた。トルコ系、チェルケス系、クルド系の奴隷軍人は 3 と呼ばれた。クルド系武将のサラーフ=アッディーン(サラディン)は え の実権を握って お を築いたが、 お は 3 を忠誠心の強いエリート軍人集団に育成し、 お の事実上最後のスルタンが育成した 3 軍団が彼の死後、クーデターによって王朝を建設した。それが 3 朝である。 3 はスルタンの「奴隷」ではあっても、イスラーム社会全体の「奴隷」ではない。スルタンの家の一員、すなわち「王の奴隷」と見られたのである。

問1 空欄 A ~ E にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|------------|-----------------|
| a アター | b イエルサレム |
| c イマーム | d 【エリュトウラー海案内記】 |
| e クテシフォン | f ズインミー |
| g ダマスクス | h タラス河畔 |
| i 【地理誌】 | j トウル・ボワティエ間 |
| k 【南海奇内法伝】 | l ニハーヴァンド |
| m マワーリー | n ミスル |
| o ワジール | |

世界史

問2 空欄 (I) ~ (VI) にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a アイバク
- b アブー=アルアッパース(サッフアーフ)
- c アブー=バクル
- d アブド=アッラフマーン3世
- e アブド=アルマリク
- f アリー
- g イブン=シーナー(アヴィケンナ)
- h イブン=トゥールーン
- i ウスマーン
- j ウマル
- k シャープール1世
- l バイバルス
- m ハールーン=アッラシード
- n マームーン
- o ミトラダテス1世
- p ムアーウィヤ
- q ヤズデギルド3世
- r ワリード1世

問3 空欄 1 ~ 3 にもっとも適した語句を解答欄に記述せよ。

世界史

問4 空欄 あ ~ お にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a アイユーブ朝
- b アクスム
- c イドリース朝
- d イフシード朝
- e カラハン朝
- f クシュ
- g ササン朝(サーサーン朝)
- h サーマーン朝
- i セルジューク朝
- j トゥールーン朝
- k パルティア
- l ファーティマ朝
- m プワイフ朝
- n メディア
- o モノモタバ

問5 下線部(1)に関して、次のア~キは、メソポタミアと呼ばれる地域に興亡を繰り返り上げた国・勢力である。これらの国・勢力が滅亡したとされる時期を古い順に並べた場合、三番目になる王朝を一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア アケメネス朝
- イ アッカド王国
- ウ アッシリア王国
- エ ウル第3王朝
- オ カッシート
- カ 新バビロニア
- キ バビロン第1王朝(古バビロニア王国)

問6 下線部(2)に関して、次のア~エのうち、正統カリフの時代に征服地の先住民にのみ課され、のちに征服地のムスリムにも課されるようになった地租の名称として正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア イクター
- イ ジズヤ
- ウ テイマール
- エ ハラージュ

問7 下線部(3)に関して、次のア～オのうち、イスラーム法に関わる内容として正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア イスラーム法をヒジュラという。
- イ イスラーム法は『クルアーン』と『ハディース』(ムハンマドの言行と伝承の記録)を基礎としている。
- ウ イスラーム法学の正しい解釈を行うのがアミールである。
- エ 「固有の学問」と呼ばれるイスラーム諸学には、法学・神学のほか、数学・天文学などが含まれる。
- オ ファーティマ朝の時代、カイロに972年、神学・法学研究のため、ニザーミーヤ学院が建設された。

問8 下線部(4)に関して、次のア～エのうち、アッバース朝時代における経済と社会に関する記述として誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア 商工業の場として、モスクの近くに市場(スーク)が、隊商の宿としてキャラヴァンサライが建てられた。
- イ 交易ルートではムスリム商人、ヒンドゥー教徒、中国人やソグド人など、さまざまな商人が行き交った。
- ウ 地下水路(カナート)の開掘による灌漑技術が北アフリカ、イベリア半島へ伝播した。
- エ 中国から伝わった製紙法が各地に伝播し、紙が普及するようになった。
- オ すべて正しい。

問9 下線部(5)に関して、次のア～カのうち、16世紀初めにシーア派をイランで初めて国教とし強大な統一国家を樹立したその国名と、その最盛期を迎えた国王アッバース1世が造成した新都の組み合わせとして正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ガージャール朝-チャルディラン
- イ ガージャール朝-テヘラン
- ウ サファヴィー朝-イスファハーン
- エ サファヴィー朝-タブリーズ
- オ ティムール朝-サマルカンド
- カ ティムール朝-バグダード

〔Ⅱ〕 次の文書を読み、以下の問いに答えよ。

フランスで共和政が定着する歴史を見てみよう。

フランスでは16世紀なかば以降、宗教的対立から内乱が生じ、王権に反対する大貴族や商工業者が存在した。ブルボン王朝は、数次の反乱を経験しつつ、このような反対勢力を押さえ込み、中央集権体制を築いていった。その際、王の統治権の正統性を根拠づけたのが [ア] が唱えた王権神授説であり、 [ア] はルイ14世の王太子の教育係をつとめていた。

しかし、立法、執行などの統治権を王権として王が独占することに対して、17世紀から18世紀以降異論が出されるようになってきた。イギリスの名誉革命を擁護した [イ] の『統治二論』や人間の自由と平等を唱えた [ウ] の『社会契約論』は王権神授説を否定したのである。こうした思想は、貴族や上層市民が主催するサロンや、パリなどの都市のカフェで共有され普及していった。

1789年に全国三部会が招集されると、三部会の代表選出にむけて全国各地で政治クラブが増加し、無数のパンフレットが刊行された。 [エ] はパンフレット『第三身分とは何か』において第三身分こそフランスのすべてであると主張した。

開催された全国三部会は、議決方法を巡って紛糾したため、第三身分の議員が中心となって新たに国民議会を結成し、憲法の制定を目的に掲げた。国王が国民議会に対抗する動きを見せると、民衆はバステューユ牢獄を襲撃し、フランス革命が始まった。パリで始まった政治的混乱は、農村に波及し、農民の蜂起が各地で起きた。国民議会は封建制特権の廃止を決議し、さらに人権宣言を採択し、国民を主権者と位置付けた。また立憲君主制に基づいた⁽¹⁾1791年憲法⁽²⁾を制定し、国民議会は解散した。⁽³⁾

1791年に国王が国外逃亡を企て [1] で捕まる事件が起きると、国王への信頼が低下した。さらに対外戦争による危機が高まると、国民衛兵と民衆が [2] 宮を襲撃した8月10日事件を機に、立法議会は王権を停止した。その後、招集された国民公会で共和政が宣言され、第一共和政がスタートした。翌年には1793年憲法が制定された。当初は、フランス西部の [3] を中心に農民反乱なども起きたが、革命政府を主導した山岳派(ジャコバン派)は、新体制にふ

さわしい国民を創造することが政治課題と考えて様々な政策を打ち出した。しかし、山岳派内での主導権争いが激化すると、公安委員会を主導したロベスピエールは、山岳派右派の [オ] や、山岳派左派の [カ] を粛清するなど、恐怖政治を展開した。

しかし1794年のテルミドール9日のクーデタで、ロベスピエールは逮捕され、その後、国民公会は⁽⁶⁾1795年憲法を制定し、穏健な共和政を目指したが、王党派の反乱や、私有財産の廃止を主張した [A] の陰謀などが起き、政局は安定しなかった。

本国の政治的分裂の危機が高まると [4] に遠征していたナポレオン＝ボナパルトは帰国し、ブリュメール18日のクーデタをおこし、総領政府を樹立し、1804年には皇帝に即位し、第一共和政は終了した。

ナポレオンが1814年に退位すると [B] が即位し、復古王政となったが、立憲君主制であった。復古王政は、次第に貴族を優遇するなどの反動政治をおこなった。1830年に、選挙権を一層制限し、言論統制を打ち出すと、パリで民衆が蜂起し、7月革命が起きた。民衆による革命の激化をおそれた上層ブルジョワジーは、自由主義者のとされた [C] を国王に迎え、共和政とはせず、立憲君主制を継続した。

七月王政下では、少数の上層ブルジョワジーのみが選挙権を有し、産業革命が進展した。この時期に、労働者の人口比率が増加し、初等教育が進んだことから識字率が向上した。また新聞の価格も低下し、大衆紙が発行され、世論に大きな影響を与えるようになった。

1848年、選挙権の拡大を求める運動が弾圧されたことから、パリの民衆が蜂起して、二月革命が起きた。 [C] は退位し、共和政の臨時政府が樹立された。政府には国立作業所の設置を推進した [D] のような社会主義者も加わったが、選挙の結果、ブルジョワを代表する自由主義者が勝利し、社会主義者は敗北した。その後の大統領選挙で当選したルイ＝ナポレオンはクーデタで独裁権をにぎり、国民投票で皇帝となり、第二共和政は短期間で終了した。

皇帝ナポレオン3世は、プロイセンとの戦争に敗れ、第二帝政は崩壊し、第三共和政がスタートした。第三共和政は、当初、共和派と王党派やカトリック教会

などの反共和派が対立し、政情が不安定で、反共和派の **E** 将軍によるクーデタ騒ぎや、反ユダヤ主義を背景としたドレフュス事件が起きた。ドレフュス事件は、共和派と反共和派の激しい対立を引き起こしたが、ドレフュスの冤罪が明らかになり、共和主義諸派によって結成された急進社会党が政局の主導権を握った。急進社会党は、カトリック教会が共和政への最大の脅威であると認識し、政教分離法を制定し、この結果、共和政は安定した。

問1 空欄 **A** ~ **C** にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|--------------|-----------|
| a ヴォルテール | b エベール |
| c コルベール | d シェイエス |
| e デイドロ | f ダントン |
| g バイイ | h ブリッソ |
| i ボシユエ | j ホップズ |
| k マザラン | l ミラボー |
| m モンテスキュー | n ラファイエット |
| o ルーヴェ=ド=リール | p ルソー |
| q ロック | |

問2 空欄 **A** ~ **E** にもっとも適した人名を解答欄に記述せよ。

問3 空欄 **1** ~ **4** にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|---------|----------|---------|
| a イタリア | b ヴァルミー | c ヴァレンヌ |
| d ヴァンデー | e ヴェルサイユ | f エジプト |
| g エリゼ | h オルレアン | i ジロンド |
| j スペイン | k テュイルリー | l パリ |

問4 下線部(1)に関連して、その決議の内容として誤っているものを次のア~オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はカを選べ。

- ア 領主裁判権の廃止
- イ 教会による十分の一税の廃止
- ウ 農奴制の廃止
- エ 特権身分の免税特権の廃止
- オ 封建地代(地代や年貢を徴収する権利)の無償廃止
- カ すべて正しい

問5 下線部(2)に関連して、この人権宣言が不十分であるとしてオランプ=ド=グージュが別の権利宣言を提起した。グージュの批判の内容として正しいものを次のア~エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 奴隷の人権が考慮されていない。
- イ 女性の人権が考慮されていない。
- ウ こどもの人権が考慮されていない。
- エ 外国籍の人の人権が考慮されていない。

世界史

問6 下線部(3)(4)(6)に関連して、1791年憲法、1793年憲法、1795年憲法で定められたそれぞれの選挙制度の内容として正しい組み合わせを次のア〜クから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | |
|----------|---|---------|---|---------|
| 1791年憲法 | - | 1793年憲法 | - | 1795年憲法 |
| ア 男子普通選挙 | - | 男子普通選挙 | - | 男子普通選挙 |
| イ 制限選挙 | - | 男子普通選挙 | - | 男子普通選挙 |
| ウ 男子普通選挙 | - | 制限選挙 | - | 男子普通選挙 |
| エ 男子普通選挙 | - | 男子普通選挙 | - | 制限選挙 |
| オ 制限選挙 | - | 制限選挙 | - | 男子普通選挙 |
| カ 男子普通選挙 | - | 制限選挙 | - | 制限選挙 |
| キ 制限選挙 | - | 男子普通選挙 | - | 制限選挙 |
| ク 制限選挙 | - | 制限選挙 | - | 制限選挙 |

問7 下線部(5)に関連して、この時期の革命政府の政策として誤っているものを次のア〜エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア 革命暦(共和暦)の導入
- イ メートル法の正式採用と実施
- ウ 「国民総動員令」のもとで徴兵制の実施
- エ 最高価格令による物価の統制
- オ すべて正しい

世界史

問8 下線部(7)に関連して、ナポレオン3世の政策として誤っているものを次のア〜オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はカを選べ。

- ア 英仏通商条約の締結
- イ パリ万国博覧会の開催
- ウ メキシコ出兵
- エ 露仏同盟の締結
- オ スエズ運河建設支援
- カ すべて正しい

問9 下線部(8)に関連して、フランス革命以降の国家とカトリック教会との関係に関する説明として正しいものを次のア〜エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 1789年のフランス革命時に、教会財産の国有化がなされ、聖職者は聖職者民事法への宣誓が強制され、公務員化された。
- イ 第一共和政下のジロンド派は、キリスト教との和解を推進するために、理性の崇拜という宗教祭典を実施した。
- ウ 皇帝ナポレオン=ボナパルトは、ローマ教皇と政教協約を結び、カトリック教会の復権を認め、第一共和政下で没収した教会財産を返還した。
- エ 第三共和政下での政教分離法導入を提唱したのは急進社会党のヘルツルである。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

ポーランド人は ① の代表的民族の一つであり、その名称はボラニエ族に由来するとされる。ポーランド人の最初の王朝はピアスト朝といい、10世紀に A に改宗し、西欧文化圏への仲間入りを果たした。1333年に即位した ② は農民の保護や経済の発展につとめ、1362年にはポーランド最古の大学である ③ 大学を創設した。だが1370年に ② が死去するとピアスト朝は断絶した。

1386年にリトアニア大公 (あ) とポーランド女王 (い) の婚姻を通じて両国は同君連合となり、 (あ) 朝リトアニア=ポーランド王国となった。この同君連合は1410年にグレンヴァルトの戦いでドイツ騎士団に対して勝利をおさめた。1525年に ⑦ 家出身のドイツ騎士団長は、宗教改革の影響を受けて B へ改宗し、ドイツ騎士団領は世俗化され ④ と呼ばれる国となったが、同時に ④ はポーランド王へ臣従させられた。ポーランドはキエフを含む現在のウクライナまで支配下に置くなど、16世紀には東ヨーロッパの大国となった。

16世紀後半に (あ) 朝が途絶えると、⁽¹⁾ポーランドは貴族主体の選挙王政へ移行した。17世紀の後半には、リトアニア=ポーランド王国は大洪水とよばれたスウェーデンからの侵略を受けた。さらに18世紀初めの ⑧ では、バルト海⁽²⁾の覇権をめぐるロシア皇帝ピョートル1世(大帝)がスウェーデンと戦いこれに勝利したが、この戦争に巻き込まれたポーランドは荒廃し、野心的なロシア皇帝はポーランドへ政治的圧力をかけるようになった。⁽³⁾

18世紀の後半には、ポーランドとリトアニアは、ロシア、オーストリア、プロイセンによって三度にわたって分割占領され、⁽⁴⁾リトアニア=ポーランド王国が解体された。ポーランドの軍人であった (う) はアメリカ独立戦争に参加したが、祖国の危機のために帰国して対ロシア戦に加わり、その後も農民蜂起を指導するなどポーランド独立のために闘った。

19世紀に入ると、ナポレオンはそれまでロシアとプロイセンによって占領されていたポーランドを解放し、フランスの傀儡国家として I を建てた。だ

が、ナポレオンのロシア遠征が失敗に終わり、その後の解放戦争でフランスはプロイセンをはじめとする連合軍に敗北した。ウィーン会議では、フランス外相タレーランの主張した ⑨ にもとづいて領土の再編が行われた。これに乗じて、ロシア皇帝アレクサンドル1世はウィーン議定書によって消滅した I をあらためて II として成立させ、ロシア皇帝が II の王を兼任した。これ以後、ロシアの支配下でポーランド人に対する弾圧が強化されるようになった。

それからおよそ100年余りが過ぎた第一次世界大戦末期の1918年11月にドイツの敗退が明らかになるとポーランドは独立を宣言し、1919年のパリ講和会議において正式に承認された。ポーランドの元首となった (X) はかつてのポーランド最大版図の復活をめざして隣国を攻撃し、1920年にポーランド=ソヴィエト戦争がはじまった。1921年に (Y) で休戦条約が結ばれ、ポーランドはベラルーシの一部や (Z) などを獲得し領土を拡大した。

問1 空欄 ① ~ ③ にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|------------|-------------------|
| a ヴァロフ | b ヴァンダル人 |
| c ウラディミル1世 | d カジミェシュ(カシミール)大王 |
| e クラクフ | f シュタウフェン |
| g テオドリック大王 | h 西スラヴ人 |
| i ノルマン人 | j 東スラヴ人 |
| k ワルシャワ | |

問2 空欄 と にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|----------|-------------|
| a カルヴァン派 | b ギリシア正教 |
| c パリサイ派 | d ルター派 |
| e ロシア正教 | f ローマ=カトリック |

問3 空欄 と にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|--------------|---------------|
| a アッティラ | b イサベル |
| c カペー | d ステファン=ドゥシヤン |
| e ナスル | f マルグレーテ |
| g ヤゲウォ(ヤゲロー) | h ヤドヴィガ |

問4 空欄 ~ にもっとも適したものを次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|----------------|-------------|
| a 古典主義 | b 三十年戦争 |
| c 七年戦争 | d 正統主義 |
| e 特権身分 | f ハプスブルク |
| g ブランデンブルク選帝侯国 | h プロイセン王国 |
| i プロイセン公国 | j ホーエンツォレルン |
| k 北方戦争 | l ランカスター |
| m 連邦主義 | |

問5 空欄 にもっとも適した人名を解答欄に記述せよ。

問6 下線部(1)に関する内容として、次のア~エのうち、誤っているものを選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア ポーランドの選挙王政では、貴族身分の者たちが選挙を通じて自ら国王を選出した。
- イ ポーランドでは当時、貴族身分はシュラフタと呼ばれ、かれらは身分制議会を通じて国政の主導権を握った。
- ウ ポーランドの選挙王政は当時の国際政治の中心地であったフランスの絶対王政を模範としてそれに真似て作られた制度であった。
- エ 選挙王政の制度は、貴族の野心や他国の政治干渉を受けやすかった。
- オ すべて正しい。

問7 下線部(2)のスウェーデンの歴史に関する内容として、次のア~エのうち、正しいものを選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 10世紀頃、ノルマン人がスカンディナヴィア半島東部にスウェーデン王国を形成し、12世紀にはデンマークをその支配下においた。
- イ 17世紀初頭、スウェーデン国王ヴァレンシュタインは、三十年戦争にプロテスタントの側に立って参戦した。
- ウ 1648年に結ばれたウェストファリア条約において、スウェーデンは東ポズナムを獲得した。
- エ 1814~15年にかけて開かれたウィーン会議で、スウェーデンはノルウェーをデンマークから獲得して同君連合を形成した。

世界史

問8 下線部(3)に関する内容として、次のア～エのうち、誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

ア ピョートル1世(大帝)は自ら西欧視察を行い、ロシアの西欧化改革に努めた。

イ ピョートル1世(大帝)はひげを切らないものに税を課した。

ウ ピョートル1世(大帝)はスウェーデンから奪った土地に新たにペテルブルクを建設し、首都をモスクワからそこに遷都した。

エ ピョートル1世(大帝)はロシアの王朝ではロマノフ朝の系譜に属した。

オ すべて正しい。

問9 下線部(4)について、三度発生したポーランド分割の年代として正しい組み合わせを次のア～オから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 1772年, 1775年, 1779年 イ 1769年, 1772年, 1795年

ウ 1772年, 1793年, 1795年 エ 1776年, 1779年, 1791年

オ 1793年, 1799年, 1805年

問10 空欄 I と II に入る組み合わせとしてもっとも適切なものを次のア～エから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア I ポーランド王国 II ワルシャワ大公国

イ I モスクワ大公国 II ポーランド王国

ウ I ワルシャワ大公国 II モスクワ大公国

エ I ワルシャワ大公国 II ポーランド王国

エ

世界史

問11 空欄 (X) にもっとも適した人名を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア クン=ベラ

イ パデレフスキ

ウ ビウスツキ

エ ベネシュ

オ ホルティ

カ マサリク

問12 次のア～カのうち、空欄 (Y) にもっとも適した都市名と、空欄 (Z) にもっとも適した地方名の組み合わせとして正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア (Y) ダンツイヒ (Z) 東プロイセン

イ (Y) プラハ (Z) ベーメン

ウ (Y) リガ (Z) ズデーテン

エ (Y) モスクワ (Z) ベッサラビア

オ (Y) リガ (Z) 西ウクライナ

カ (Y) ワルシャワ (Z) シュレジェン